



テレワーク実施紹介

2020年6月27日

株式会社アリス
取締役 上田 裕



コンピュータソフトウェアの品質保証のための検証に関する商標
(登録第6233215号)を2020年3月6日付で取得しました



2018年に特許庁に出願をしておりました『TESTED BY JAPAN』商標につきまして、2020年3月6日登録が完了いたしました（登録6233215号）

CS事業部 品質管理部における、一般消費者向けエンタテインメント機器、オフィス機器、ECサイト等一般または企業向けWEBシステム、医療機器レギュラトリーサイエンス、スマートアプリケーションなどソフトウェアの検証業務、自動化の請負業務はもちろんのこと、開発、インフラ、セキュリティ、プロダクトセールス、調査研究、ベトナムオフショアといったあらゆる業務において、「日本ならではの品質」を追求してまいります。

この取り組みをさらに強化すべく、以下の2点を推進してまいります。

1. 体制強化

お客様を支援しパートナーシップをより強固なものにすることで、国内のみならず海外での競争力を強化するための体制を構築、強化する。

2. ブランディング

技術進歩の速さに追随し、競争力のある特長を持ったソリューションを提供し続けるブランドイメージを構築する。今後「TESTED BY JAPAN(R)」を業界の中で拡大していくことにより、高品質なソリューション・サービスをお客様に提供するとともに、社員ひとり一人の成長に繋がると確信しております。

株式会社アリス CS事業部 品質管理部

コンピューターシステム利用形態遷移

- 1959年 TSS構想 マサチューセッツ工科大学 ジョン・マッカーシー教授
- 1970年 オンラインリアルタイム処理
- 1980年 Relational Database/垂直・水平機能分散処理
- 1981年 IBM PC互換機アーキテクチャ
- 1990年 クライアントサーバーシステム(汎用機は淘汰される?)
- 1995年 Windows95
- 2000年 Web系システム
- 2010年 クラウドシステム
- 2020年 自社保有システムからの解放
 GAFA独占状態、日本では・・・?
 ハードウェア、ソフトウェアの維持・管理からの解放/運用コスト軽減
 従来のビジネススタイルが激変する!?

テレワークの課題(想定)

テレワークの導入目的

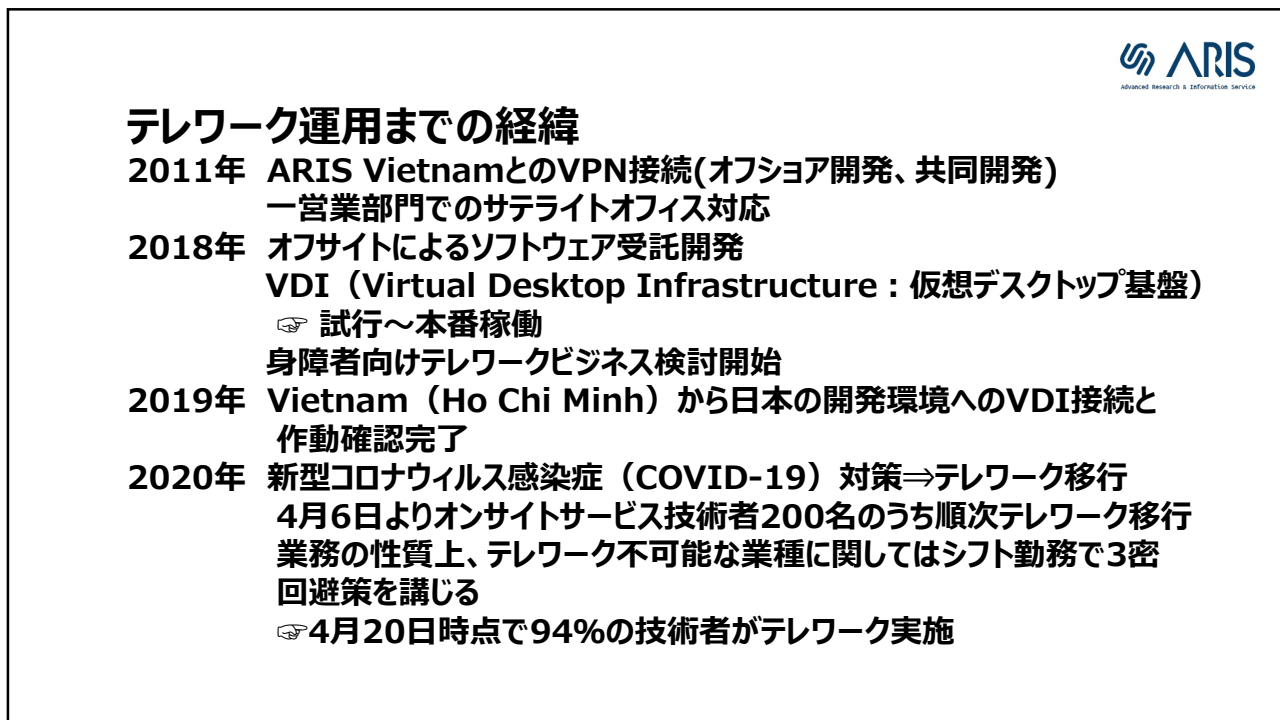
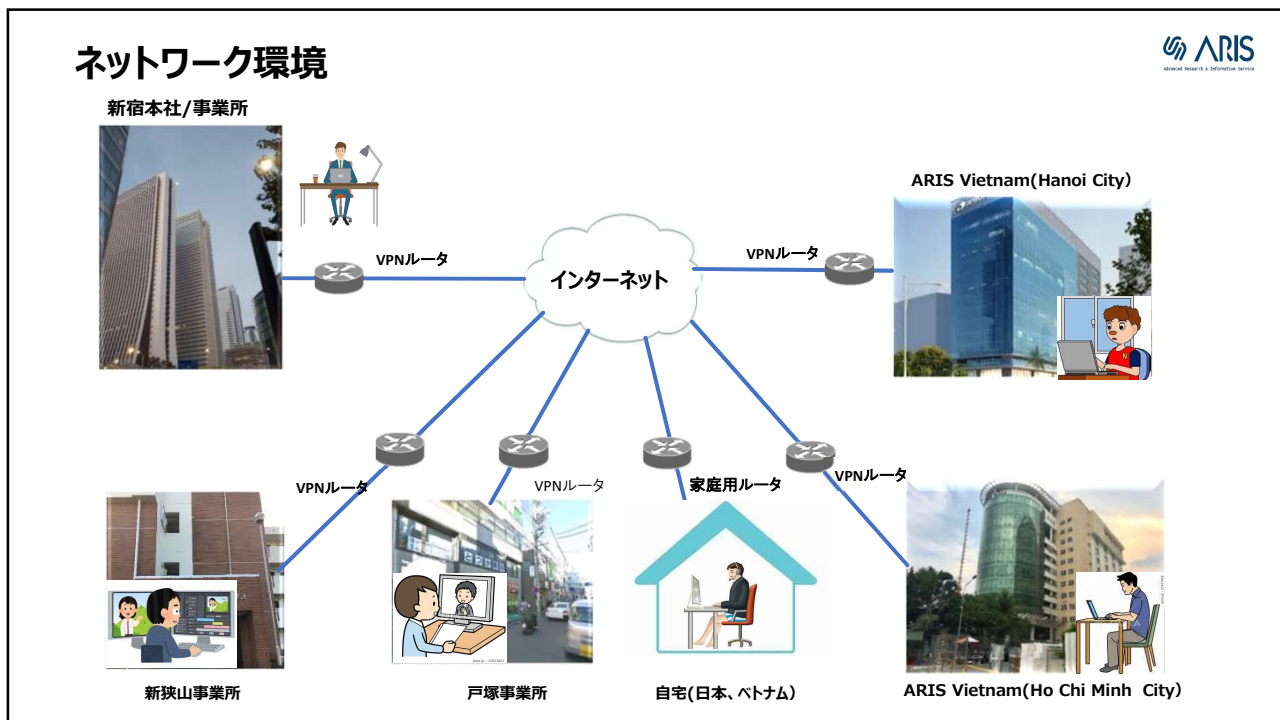
「生産性の向上」「勤務者の移動時間の短縮」「身障者・高齢者・育児中の社員」への対応

メリット

通勤時間削減!
 業務に集中できる!

デメリット

仕事のON/OFFの切替えが難しい?
 セキュリティ担保?
 業務指示(報・連・相)がスムーズに行えないのではないか?



部門毎の業務継続方法

部 門	顧客	在宅	サテラ イト	シフト
オンサイト技術サービス部門				
営業部門		○	○	○
システム開発部門		○		○
医療システムサービス部門	○	○		○
ソフトウェア検証部門	○	○		○
IT基盤部門	○	○		○
セキュリティサービス部門	○	○	○	○
調査部門		○	○	
製品販売部門				
営業部門		○	○	
ソフトウェア開発部門				
営業企画部門				○
技術部門				○
海外事業部門				○
AIセキュリティ事業部門				
営業部門				○
技術部門				○
本社管理部門				
総務部門				○
経理部門				○
人事部門				○

テレワーク実施(結果)

- ✓ 円滑にテレワークに移行が出来た
 - 従来より海外との開発体制連携していたため必要なインフラは完備しているため
 - オフサイト開発、スタッフ部門も滞りなく移行できた
 - また、IT機器の調達に関しても自社調達部門があるため、機材調達も遅延なく
 - テレワーク移行出来た
 - 生産性向上：担当者レベルでは業務に集中出来た
 - 通勤時間：付加価値創出

今後の動向

- テレワーク継続（オフィス 固定費削減）
- 生産性・必要とされるHRが選定させる（人件費削減）
- ☞ 研究開発への投資が加速される

テレワーク実施(結果)

5月21日 各部門へのリーダー、担当者へのアンケート実施

✓ 課題

仕事のON/OFFの気持ちの切替えが難しい
管理者の作業効率≒30%ダウン
テレワークツールの選定
情報漏洩などのセキュリティ面で不安を感じる
自宅が仕事を行える環境ではない

✓ ビジネスチャンス

各部門(担当者を含む)へのアンケート実施
テレワーク業務に『あれば楽になる』機能(ツール)等の要望が出てきた
ビジネスチャンスと捉え具現化に向けて検討開始する

テレワークで利用したツール群

✓ ミーティングツール

Office365 Teams
ZOOM Cloud meeting

✓ 開発用ツール

VDI (Virtual Desktop Infrastructure)

TV会議システム機能比較



製品名	参加可能な最大人数	参加者のユーザ登録	Webブラウザ単体利用可否	録音/録画機能有無	対応OS	パスワード設定	不適切な参加者の排除	画面共有	時間制限(無料版の条件)	利用料金	その他
1 Cisco Webex	無料: 100人 有料: 制限なし	不要	可	録音: なし 録画: なし ※有料版ホストのみ可能	Windows/Mac/iOS/Android	可	可	可	24時間	1,000/月額(1人)	コロナ以前に世界で最も利用されているWeb会議システム
2 Microsoft Teams	無料: 250人 有料: 10,000人	不要	可	録音: あり 録画: あり	Windows/Mac/iOS/Android	不可	不可	可	8時間	1,380/月額(1人)	キーボード入力音などのリアルタイムノイズ抑制機能あり
3 Google Meet	無料: 100人 有料: 250人	不要	可	録音: なし 録画: なし ※有料版で可能	Windows/Mac/iOS/Android	不可 ※SNS認証あり	不可	可	60分	1,200/月額(1人)	2020/9/30まで時間制限が24時間に緩和されている
4 Skype Meet Now	無料: 103人 有料: 制限なし	不要 ※ホストも不要	可	録音: なし 録画: なし ※有料版ホストのみ可能	Mac/iOS/Android	不可	不可	可		980/月額(1人)	Googleドキュメントの共同編集が可能
5 Zoom	無料: 100人	不要	可	録音: あり 録画: あり ※ローカルに保存	Windows/Mac/iOS/Android	可	可	可	24時間※無料版は3人以上40分まで	2,600/月額	バーチャル背景機能を利用可能

今後の動向



企業(研究開発)

大手企業のテレワーク期間における社員出社率 **25%**
 ※営業職を含めたコスト部門 大幅人員削減 固定費削減分を研究開発に注入
 ※日本国内のマーケット縮小⇒海外シフト
 ※ゼネコンも同様、ゼネコンに紐づいている下請け企業も影響大
 ⇒固定費削減分を研究開発に注入

テレワーク実施したIT企業は、そのままテレワークを継続させて都心オフィスを縮小する方針である。
 世界的市場規模を考えると日本の市場規模は小さい。
 逆に日本企業が欧米のビジネススタイルに合わせざるを得ない時を迎えている。

医療

ビジネス形態の変化をチャンスと捉えて、5G、クラウドシステム、IoT等の要素技術は広域連携医療システムの開発によりお客様への医療サービス(品質)向上と医療従事者の健康・安全を担保する為にも必要不可欠であると確信しています。

以上